

単元名 Lesson 8 「What do you want to be?」～夢宣言をしよう～  
室小学校 6学年1組  
授業者 野間口広美 教諭（室小学校）  
古川 忠司 主幹教諭（室小学校）  
助言者 末次佐代子 校長（室小学校）  
司会者 梅野 秀行 教諭（菊陽中学校）  
記録者 豊田 麻美 教諭（菊陽中部小学校）

### 1. 授業者自評

- ・本時の単元は、旧教材にも新教材にもある。児童のなりたい職業の簡単な理由が言えるようになることが目標。
- ・理由には、I like～, I can～ を使うようにした。実際はI want to～ を使った理由も使う予定だったが、児童には3つ使用させるのはハードルが高いと思い、前者の2つに絞った。
- ・新教材にもある単元なので、旧教材をもってきて良かったのか…。検討いただきたい。
- ・本時は活動が3つあった。前半急ぎ過ぎて後半の活動をもて余してしまった。時間配分がうまくいかなかった。
- ・（古川主幹より）ALTの急な交代があった。本学級での外国語活動は今回が初めてだったが、T2を経験して役割の難しさを感じた。させてもらってよかった。

### 2. 質疑応答

Q. 教科書を使用されなかったが、普段は？

A. 新旧の教材を混ぜ合わせた単元構成のため、今日は使用しなかったが、普段は使用している。

Q. 職業当てクイズで、児童の「簡単！」という声がよく聞かれたが、児童の実態は？

A. 前時までに教科書で扱ってある職業名の中から15種類選び、2時間練習した。本時が3時間目。クイズで扱った職業を簡単にしたのは、職業名を当てることが目的ではなく、理由が言えるようになることが目的だったため。児童が3つの活動で慣れた状態で使用できるよう敢えて簡単なものにした。

Q. 活動の中で、「ラッキーカード」というものがあったが、何だったのか？

A. 児童がとても喜んでしたが、とくに意味はなかった。

Q. 音声と文字をどのように関連させて指導しているのか？

A. I can～, I like～はこれまで繰り返し出てきているので慣れている。本時でも3つの活動の中で繰り返し使った。さらに、音声になれてくると、イラストをつけた文字を見せるようにしている。また、文字を取り扱う場合、話し合いや確認ができるように、ペア活動させること

で文字に気づかせることもしている。

Q. チャンツの活用がとてもよかった。チャンツの効果を教えてください。

A. 大津町は昔から取り入れている。本時で使った職業チャンツは市販のもの。教材に付いているものは難しくて使用しなかった。

児童は、歌やリズムにのせると覚えやすい。リズムボックスを使用するとさらに良いと思う。今日は手拍子で行った。

チャンツは楽しんでできるし、覚えやすいようだ。

Q. ワークシートについて教えてください。幅の広い4線は作成されたのか？

A. 単元に1枚作ることもあるし、1時間ごとに作る時もある。今回は最後の夢宣言を卒業文集に入れることにしている。本単元は、毎回1時間ごとには作っていない。

幅広4線は、町のコンピュータメンテナンスをされる方に作っていただいたもの。

(野間口先生よりフロアへ)

Q. 中学校では、ワークシートのフォントは何を使用しているのか。

A. ☆**Comic Sans** を使用し、Yだけ丸ゴシックで打ちかえている。

☆**Century Gothic** を使用している。

### 3. 協議 ☆協議の柱☆「豊かな表現力の育成を目指した授業の創造」

- ・小中連携で、互いに大研を見に行くことが大切。そして、互いに教材を共有できたらよい。
- ・チャンツを中1でも小学校と同じものを使用したらどうか。You tube に前大津町ALTが作られた面白いものがある。
- ・小学生の意欲を中学校でも持続できるようにしたい。中学校がもう少し頑張る必要がある。
- ・中学校の先生が小学校での学習が分かるようにすると良い。子どもが中学校で、小学校で習ったものが今分かった！と達成感があるように。
- ・小中で4線を同じものにするとうい。
- ・コミュニケーションの3つのポイントは、表現力の育成にはとても大切なので、中学校でも継続させていきたい。豊かな表現力を育成するには、語彙力がないと難しいので、単語をたくさん習得できるゲームを取り入れていく。
- ・小学校での表現力は、ジェスチャーとかあるが、中学校ではセンテンス表現になるので、小と中での豊かな表現力は違ってくるが、小学校のチャンツは良いと思う。
- ・小学校で毎時間書く活動を入れることは、中学校にはありがたい。

### 4. まとめ (末次佐代子校長)

- ・野間口先生が細かく打ち合わせをし、何度も確認しながら熱心に取り組まれた。
- ・学級経営がしっかりできている。
- ・チャンツにおいては、学校全体で工夫しており、学校の土台がある上で学級の実態に合わせて変

えている。

- ・本時の内容は活動が多すぎたので、時間配分が難しかったがよくコントロールされていた。
- ・音声と文字については、小学校では本時の流れの中で音声とイラストと最後に自然に文字がついてくる程度でまず慣れさせるようにする。自然に児童が慣れ親しんでいくことが大切。
- ・今の子どもたちは、音やリズムに反応することが上手。こちらが乗せると覚えていく。
- ・本校での書く活動については、本校では5年生は1時間の中で1つ単語を書く、6年生はセンテンスを書くようにしている。
- ・今回のように「夢宣言」を卒業文集に載せるというゴールを示して取り組むとよい。卒業も近いので。
- ・本校では週2回の職員朝会時に Classroom English を一つずつリピートして声に出して練習している。ほんの数秒であるが声に出すことができるのと、たとえ忘れても教務主任が作成する週行事予定表の一番下に掲載してあるのでそれを見れば思い出すことができる。

今日は、フロアからたくさんの実践を出していただいたことが有難かった。先生方には、「一生使える英語を楽しく教える！」そんな思いで頑張っていたきたい。